

平成 17 年 4 月 13 日

各 位

株式会社 アプリックス

東京都新宿区西早稲田二丁目 18 番 18 号

(コード番号：3727 東証マザーズ)

代表者 代表取締役社長 郡山 龍

問合せ先 執行役員 経営企画室室長 杉浦 慶枝

電話番号 03-5286-8436 (経営企画室)

アプリックス、NTTドコモとFOMA®端末向けDoJa/Java™プラットフォームを共同開発

株式会社アプリックス(以下「アプリックス」)は、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ(以下「ドコモ」)と、FOMA®向けのDoJa*/Java™プラットフォームを共同開発することで合意しました。

2004年8月より、アプリックスはドコモと共同でDoJa/Javaプラットフォームの試作開発を行い、性能の向上およびDoJa/Javaプラットフォームの統一化による携帯電話メーカーの開発工数削減の可能性等を評価してまいりました。この評価の結果、このたびのDoJa/Javaプラットフォームの共同開発にいたりました。アプリックスは、今後、FOMA 端末を開発する各携帯電話メーカーへの提供に向け、2005年6月下旬の完了を目標に同プラットフォームを開発してまいります。このプラットフォームは、携帯電話メーカーおよび機種毎の独自機能も実現することが可能です。

ドコモの移動機開発部長である千葉 耕司氏は「携帯電話の高機能化に伴い、搭載されるソフトウェア開発の規模は増大する一方です。アプリックスと共同で開発をする FOMA 向け DoJa/Java プラットフォームは、携帯電話メーカーにとって新しい機能を搭載した携帯電話をスピーディに市場投入するための一助になると期待しています。」と述べています。

なお、アプリックスは、2005年5月にドコモのR&Dセンターが所在する横須賀リサーチパーク内に開発拠点「YRP 開発センター」を開設し、DoJa/Javaプラットフォームの開発を更に加速してまいります。

ユビキタス時代のデジタル家電の基盤となる技術として注目されるJavaテクノロジー。そのJavaを独自の技術でデジタル家電の上で動作させることを実現したプラットフォーム JBlend™。アプリックスは搭載実績9200万台を超えたJBlendの研究開発を推し進め、より便利で魅力的な家電製品の開発に貢献してまいります。

なお、本件は来期以降に収益貢献するものと見込んでおり、当社の当期業績に与える影響は軽微です。来期以降の業績に与える影響は未定です。

* ドコモの i アプリ®用Java仕様の総称。

※ JBlendおよびこれらに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

※ JavaおよびJavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

※ 「FOMA/フォーマ」「i アプリ/アイアプリ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

※ その他の社名、製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

以 上